

## 平成27年度 大阪教育大学「学生表彰」学生業績

### 学長表彰（5名）

○伊原木 幸馬（いばらぎ ゆきま） 大学院 音楽教育専攻

#### 【業績概要】

オーストリア（ウィーン）において、ウィーン国立音楽大学主催 Prof. ディヒラーコンクール総合第2位（声楽では1位）受賞。第15回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位（1位該当者なし、日本人トップ入賞）受賞。第68回全日本学生音楽コンクール声楽部門大阪大会本選入選。第5回関西の音楽大学オーケストラフェスティバル（8大学合同企画）において、モーツアルト作曲「聖母マリアのためのリタニア」をソリスト選抜オーディションに合格し、指揮者：尾高忠明氏と共演を果たすなど、在学中、学術において特に顕著な成果をおさめた。

○大山 佳祐（おおやま けいすけ） 教養学科 スポーツ専攻

#### 【業績概要】

2012年度 日本選手権200m背泳ぎ準決勝13位、ジャパンオープン200m背泳ぎB決勝8位（全体16位）、日本学生選手権100m背泳ぎ8位、200m背泳ぎ5位

2013年度 日本選手権200m背泳ぎB決勝3位（全体11位）、ジャパンオープン100m平泳ぎB決勝2位（全体10位）、200m背泳ぎ7位、日本学生選手権水泳競技大会100m背泳ぎ8位、200m背泳ぎ4位

2014年度 日本選手権50m背泳ぎB決勝4位（全体12位）、100m背泳ぎB決勝7位（全体15位）、200m背泳ぎB決勝3位（全体11位）、ジャパンオープン50m平泳ぎB決勝5位（全体13位）、200m背泳ぎ7位、日本学生選手権水泳競技大会100m背泳ぎB決勝2位（全体10位）、200m背泳ぎ6位

2015年度 日本選手権100m背泳ぎ8位、200m背泳ぎ準決勝9位、ジャパンオープン100m平泳ぎB決勝5位（全体13位）、200m背泳ぎB決勝6位（全体14位）日本学生選手権水泳競技大会100m背泳ぎ8位、200m背泳ぎB決勝7位（全体15位）

以上のように、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○小林 奈央（こばやし なお） 教養学科 スポーツ専攻

#### 【業績概要】

2012年度 第11回世界短水路選手権（トルコ・イスタンブール）50mバタフライ予選17位、100mバタフライ準決勝11位、200mバタフライ8位、400mメドレーリレー（第3泳者）6位⇒予選（第3泳者）で3分54秒41の日本新記録樹立、400mリレー（第4泳者）7位、日本選手権100mバタフライ2位、200mバタフライ8位、ジャパンオープン100mバタフライ3位、200mバタフライ7位、日本学生選手権水泳競技大会100mバタフライ2位、200mバタフライB決勝1位（全体9位）、国民体育大会100mバタフライ3位

2013年度 第27回ユニバーシアード競技大会（ロシア・カザン）100mバタフライ3位、200mバタフライ2位、第6回東アジア競技大会（天津）100mバタフライ3位、200mバタフライ5位、日本選手権50mバタフライ8位、100mバタフライ3位、ジャパンオープン100mバタフライ2位、200mバタフライB決勝4位（全体12位）、日本学生選手権水泳競技大会100mバタフライ優勝、200mバタフライ4位、国民体育大会100mバタフライ2位

2014年 日本選手権100mバタフライ7位、200mバタフライB決勝6位（全体14位）、ジャパンオープン100mバタフライ6位、200mバタフライB決勝2位（全体10位）、日本学生選手権水泳競技大会100mバタフライ2位、200mバタフライ2位、国民体育大会100mバタフライ3位

2015年度 日本選手権100mバタフライ8位、100m自由形準決勝15位、日本学生選手権水泳競技大会100mバタフライ優勝、200mバタフライ優勝、国民体育大会100mバタフライ優勝

以上のように、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

○田中 脩史 (たなか なおふみ) 教養学科スポーツ専攻

【業績概要】

2012・2013年度 関西学生新人大会2年連続準優勝に貢献(関西全50チーム参加中2位、2年次は主将)、2部リーグ優勝、1部自動昇格にレギュラーとして貢献。リーグアシスト王、優秀選手賞受賞、関西学生選抜に選出。関西地区プロ・Jリーグ4チーム(ガンバ大阪、セレッソ大阪、京都サンガ、ヴィッセル神戸)とのステップアップ・リーグ戦に数試合出場

2014年度 1部リーグ全試合にレギュラーとして出場、関西学生選抜に選出、ステップアップ・リーグ戦に数試合以上出場、全日本大学地域対抗戦に関西選抜として出場、全登録選手2500名中の最終18名に選出。国公立大学からは1名のみ選出、先発メンバーとして活躍し、関西選抜チームの全国3位入賞に貢献した。

2015年度 2部A(上位リーグ)2位、自身2度目の1部自動昇格に主将・レギュラーとして貢献、リーグ優秀選手賞受賞、関西学生選抜チームの一員としてステップアップ・リーグ戦に数試合出場、2016年1月9日付で、「アルビレックス新潟・シンガポール」にプロ契約選手として入団決定。(本学から3人目のプロ契約選手)

以上のように、在学中、目覚ましい活躍を見せた。

○堀川 真奈 (ほりかわ まな) 教養学科スポーツ専攻

【業績概要】

2013年には第12回女子ジュニアアジア選手権(2014年世界選手権予選)大会の日本代表、2014年には第2回U-22東アジア選手権大会の日本代表に選ばれ、両大会とも第2位の成績をおさめた。

さらに、2015年の全日本学生ハンドボール選手権大会(インカレ)において、チームを3位入賞に導くとともに、優秀選手賞を受賞するなど、在学中、課外活動において特に顕著な成果をおさめた。

## 学長特別表彰(2団体)

○体育会女子ハンドボール部

【業績概要】

2015年西日本学生ハンドボール選手権大会で準優勝、全日本学生ハンドボール選手権大会(インターカレッジ)では第3位に入賞するなど、課外活動において、特に顕著な成果をおさめた。

○障がい学生修学支援ルーム「チーム共走」

【業績概要】

平成27年にクローバープラザ(福岡)で開催された日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク主催「第11回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム」内「実践事例コンテスト」で『PEP Net-Japan賞(優勝)』を受賞。このコンテストは高等教育機関が日頃実践している支援の取組を発表し、参加者の投票により優れた取組を表彰する全国規模のコンテストで、他の先進的な取組をしている参加団体(17団体)を抑え、3年連続の入賞を果たしただけでなく、今回の優勝は、障がい学生支援を通して本学の評価を向上させることに多大な貢献を果たした。